

橋川潤

Hashikawa Jun

漢字の力が ついてくる本

集

集



漢字の力がついてくる本

江苏工业学院图书馆
藏书章

橋川潤

Hashikawa Jun

[著者紹介]

橋 川 潤 (はしかわ じゅん)

1929 (昭和4) 年、北京生まれ。大阪外国語大学中国語学科卒、東京都立大学大学院中国文学研究科修了。

中教出版、河出書房新社、日本アートセンターを経て、現在、潤文社代表取締役。趣味は篆刻・釣り。

著書に、「用字辞典」(実業之日本社、1979)、「漢字常用辞典」(作品社、1981)、「漢字ハンドブック」(作品社、1984)、「漢字使い分け辞典」(実業之日本社、1987)、「漢字早わかり辞典」(作品社、1992)、「同音・同訓ハンドブック」(池田書店、1994)のほか「四字熟語」など。

漢字^{かんじ}の力^{ちから}がついてくる本^{ほん}

一九九七年四月二十六日

第一刷発行

著 者

橋川潤^{はしかわ じゅん}

発行者

小島民雄

発行所

株式会社 集英社

東京都千代田区一ツ橋二一五一一〇
郵便番号一〇一―一五〇

編集部 (〇三) 三二三〇―六一四一

販売部 (〇三) 三三三〇―六三九三

制作部 (〇三) 三三三〇―六〇八〇

印刷所

中央精版印刷株式会社

錦印刷株式会社

落丁・乱丁の本が万一ございましたら、小社制作部あてにお送り下さい。送料小社負担でおとりかえいたします。本書の一部あるいは全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

定価はカバーおよび帯に表示してあります。

はじめに

日本人が日本語の読み書きを容易にするためには、漢字の実力をつけることが、何よりも正しいことです。そして、漢字の知識が豊かであることは、人間の豊かさ、教養の高さを示すバロメーターであるといっても過言ではありません。

ところが、漢字が日本語にとって重要な役割を占めているにもかかわらず、最近では、昔に比べて漢字の知識のレベルが低くなっています。それはいったいなぜなのでしょう。

原因の一つとして、ここ半世紀にわたっての「当用漢字」「常用漢字」による漢字使用の制約による影響があげられると思います。常用漢字が、「一般の社会生活で用いる場合の目安」とされながらも、教育の場において、さまざまな制約を受けているのは事実です。

また、便利なワープロが普及したため、人々はイージーに機械に依存し、実際に漢字を書く機会が少なくなっています。こうして漢字の知識がなくなると文章を処理してしまうような傾向が出てきました。機械を離れると、もう読み書きできなくなってしまうのです。ワープロを正しく有効に使うためにも、漢字の力をつけておく必要があります。

しかし、その一方で、漢字愛好家が増えている現実もあります。たとえば、漢字能力検定試験、つまり漢字の読み書きコンクールが、年々盛んになってきております。また、生まれた子供の名前につけることができる「人名用漢字」の字数も増えてきました。さらに、学校や職場や酒場などでもよく、漢字雑学とでもいいましょうか、漢字の知恵比べのような会話を耳にします。たとえば、「日」字に一画を足してできあがる漢字は何字ある？」ですとか、「一から十までの数字の中に、二画の漢字はいくつある？」などです。

日本人の多くは、漢字に対する関心と、漢字の力をつけたいという意欲を、大いに持っているのです。まず、漢字は難しいもの、古臭いものという先入観を取り払ってみてください。漢字は私たちの身近な存在です。本書は、みなさんが楽しく、漢字に親しみながら、力をつけることができるように努めました。

人の顔だちと性格がそれぞれ違うように、漢字も一字ずつ形が異なり、その字の意味や用法も異なっています。人間にも「そっくりさん」がいるように、漢字にも非常によく似た字があります。そのことを本書では最初に取り上げました（第1章参照）。

よく、生まれた赤ちゃんが両親のどちらに似ているか、ということが話題になりますね。例

外を除いて、赤ちゃんはお母さんかお父さんのどちらかに似ています。生き写しなどということもあります。漢字の場合でいえば、それは象形文字（第4章参照）なのです。

このように、漢字を身近なものとしてとらえていけば、しぜんに漢字に親しみがわいてくると思います。

本書では、毎日の新聞や雑誌・書籍の中に出てくる漢字や、日常生活で使われている漢字と熟語を取り上げています。しかし、常用漢字の範囲外のものも多く登場します。ちょっと難しいと思われる漢字も出てきますが、本書に出てくる漢字ぐらいいは、自分のものとして身につけていただきたいと思います。また、高校・大学の入試、就職試験、漢字能力検定試験などにもよく出題されるものも数多く載せてあります。

漢字は、まず正しく読めることが先決です。そのために、本書では、まず漢字を大きい文字で示し、その下に読み方と、簡単な用例・語釈などを置きました。上の漢字の部分、または下の読みの部分を紙などで伏せ、自分の読む力、書く力を試してみましょう。

本書が、みなさんの漢字に対する関心を高め、漢字の力を向上させるうえに、すこしでもお役に立つことができれば幸いです。

著者

目次

はじめに..... 1

1 形の似ている漢字..... 9

ちよつぴり異なる漢字、「千」「干」「于」など

2 意外と読めない、書けない漢字..... 17

「髭」「鬚」「髻」、どこのひげ？

3 日本製の漢字・国字..... 35

「凧」「凧」「凧」「凧」、
「鰯」「鰯」など

4 楽しい象形文字30例..... 47

「女𠂔」＋乳房Ⅱ「母𠂔」

5 旧字体と新字体の漢字..... 55

「縣廳」から「県庁」へ

6 数が最も多い二字熟語……………63

「鶴首」かくしゅ「鳩首」きゅうしゅ、どんなときに使う？

7 三字熟語、「松竹梅」「雪月花」など……………109

身近にもいる好々爺こうこうや・艶福家えんぷくか・好事家こうずか

8 熟字訓の漢字……………119

料亭の「女将」おかみと八百屋の「内儀」おかみさん

9 誤りやすい二字・三字熟語……………133

「除行」とは通行止めのことか？

10 正しく覚えて使おう、四字熟語……………145

「頭寒足熱」「温故知新」「巧言令色」など

11 誤りやすい四字熟語……………173

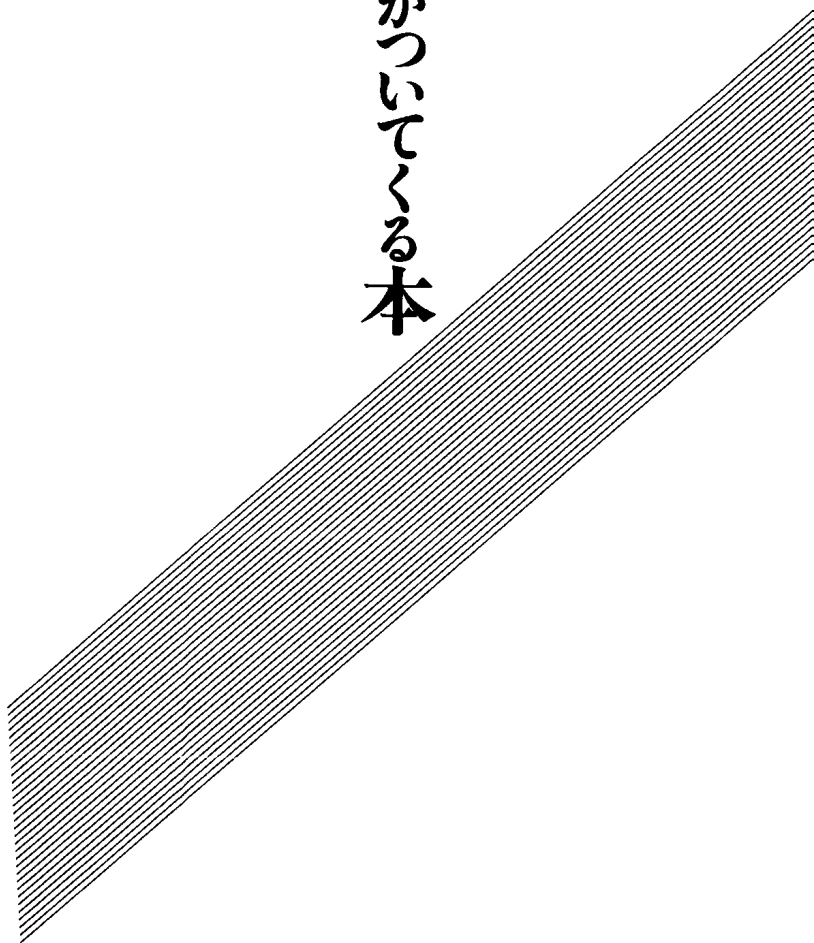
「異句同音」「不倒不屈」「独断先行」など

12 書き分けたい動詞の漢字……………179

「見る」「診る」「看る」「視る」「観る」の使い分け

13	「い」「しい」がつく、難読の形容詞……………	209
	「五月蠅い」「愛いやつ」「愛しい人」、何と読む？	
14	読めない、書けない生物の漢字……………	217
	「熊貓」 ^{パンダ} 「狎」 ^{ちん} 「蝶」 ^{ちよう} 「鰺」 ^{あじ} 「鷗」 ^{かもめ} 「樺」 ^{けやき} など	
15	意外と思いつけない反対語……………	247
	「深夜」の反対語は？	
16	外国語・外来語の漢字表記……………	263
	「タバコ」から「煙草」、そして「たばこ」へ	
17	中国料理の「菜單」 ^{メニュー} から味を知る……………	277
	食は中国に在り	
	おわりに……………	285

漢字の力がついてくる本



日本音楽著作権協会（出）許諾第9703117-701

此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongb.com

1

形の似ている漢字

ちよつぴり異なる漢字、「千」「干」「于」など



中国に「于」(中国音ユイ)という姓があります。先日、テレビのニュースを見ていましたら、アナウンサーがこの「于」を「カン」と読んで平然としていました。

中国には「干」(中国音ガン)という姓もありますが、ごく稀な姓です。ちなみに、手近にあった『中国文化界人物総鑑』という人名事典で調べてみますと、「于」姓の二十六人に対し、「干」姓は一人のみです。さらに『現代中国人名辞典』でも、「于」姓三十九人に対し、「干」姓はたった一人です。テレビ画面でも明らかに「于」となっており、これはおそらく、アナウンサーの誤読でしょう。

このように、漢字には非常に形の似ている字があります。書く人に右上がりの癖があったり、ハネを気にせず乱雑に書けば「千」の字だって干や于と似てくるのではないのでしょうか。

漢字は、ある部分をハネてあるかないか、線が突き出ているかないか、一点一画の有無の違いなどで、まったく別の字になるのです。チラシ広告や新聞・雑誌・書籍などでも、それらの誤植がよく見受けられます。

私は、東京の「荻窪」という所に住んでいるので、よくこの二文字を書くことがあります。

「荻」の字を書くとき、もしや「萩」に取り違えていないかと確認のダメ押しをすることがあ

ります。萩も萩も共に多年草ですが、別のものです。どちらも意味を表す草冠くさかんむりと、音を表す「狄」てき「秋」しゅうとから成っている形声文字（意味を表す部分と音を表す部分とから成る漢字）です。私は、常日ごろ植物である「萩」という字に「矛」（けものへん）がついていることに違和感を覚えていたのか、この字を素直には書けないのでしよう。

数種の漢和辞典で、この二文字の親字の項目を調べてみました。すると、どの辞典にも、それぞれ項目に、△「萩」は別字△「萩」は別字と記されているではありませんか。字形が酷似しているわけでもないのに、なぜ、わざわざ注意書きがあるのだろうか、疑問を抱いています。

そのほかに、「己・巳・巳」、「戊・戌・戌」の字を使い分けて書くときにも、やはりこの字でよいのかと、まず自問自答して確かめ、それから正確に書くように努めています。

次に、よく用いられる漢字で、形が似ていて間違いやすいものを挙げ、その音訓と用例を示しておきましょう。音訓の片仮名は音読み、平仮名は訓読みで、太字は「常用漢字」の読み方として許容されているものです。

① ハネているかいないかの違いの字

干

カン／ほす・ひる・おかす

▽干支・干涉・干拓・欄干など。

于

ウ／ここに・おいて・より・ああ

▽中国の姓や地名・国名など。

竿

カン／さお

▽竿頭・竿牘かんどく（手紙・書簡）・竹竿・

釣り竿・旗竿・物干し竿など。

筭

ウ

▽竹製の吹奏楽器。笙しょうの一種。

② 線が突き出ているかいないかの違いの字

己

コ・キ／おのれ・おの・つちのと

▽一己・自己・利己・知己・克己復こつきふく

礼れい（己おのれに克かちて礼に復す）〔論語〕

已

イ／すでに・のみ

▽已往いおう・已然形いぜんけいなど。

巳

シ／み・へび

▽十二支の第六番め。巳みの刻。

③ 線の長短が異なる字

未

ミ・ビ／いまだ・まだ・ひつじ

▽十二支の第八番め。未婚・未知・

未定・未亡人・未来・未練など。

末

マツ・バツ／すえ

▽末席・末子ぼっし・月末・粉末など。

日

ニチ・ジツ／ひ・か

▽日課・日記・日光・曜日・十日

曰

エツ／いわく・のたまわく

▽曰く因縁いんねん・曰く付きなど。

④一点の有無・変形によって異なる字

戌

ボ・ボウ／つちのえ

▽十干の第五番め。戌夜・戌辰など。

戌

ジュ／まもる

▽戌衛・衛戌など。

戌

ジュツ／いぬ

▽十二支の第十一番め。戌の刻。

⑤一画の有無によって異なる字

鳥

チヨウ／とり

▽鳥人・一石二鳥・益鳥・怪鳥・七

面鳥・白鳥・野鳥など。

鳥

ウ・オ／からす・いずくんぞ

▽烏合(の衆)・烏有(に帰す)・烏鷺

(の争い)・烏澁がましいなど。

鳴

メイ・ミヨウ／なく・なる・ならす

▽鳴動・共鳴・鷄鳴・悲鳴など。

鳴

オ

▽鳴咽・嗚乎など。

酒

シュ／さけ・さか

▽酒宴・酒豪・酒席・酒乱・酒場・

飲酒・禁酒・銘酒・洋酒など。

酒

セイ・サイ・シャ／あらう・すすぐ・

そそぐ

▽酒脱・洒落(しやれ)・瀟洒など。

茶

チャ・サ

▽茶会・茶色・茶室・茶飯事・茶房・

紅茶・緑茶・喫茶など。

茶

ト・タ・ダ／にがな・のげし

▽茶毒・茶毘・曼茶羅など。

昆

コン／あに

▽昆虫・昆弟・昆布など。

毘

ヒ・ビ

▽毘沙門天・毘翼(助ける)・茶毘など。

泌

ヒツ・ヒ／しみる

▽泌尿器・分泌・便秘

沁

シン／しみる

▽沁水(中国の河川名)

享

キョウ／うける・すすめる

▽享宴・享受・享年・享有・享樂

亨

コウ・キョウ・ホウ／とおる・たて

まつる ▽亨運(よい運勢)

刺

シ・セキ／さす・ささる・とげ

▽刺激・刺繡・風刺・名刺など。

刺

ラツ／もとる

▽潑刺 ▽外国語「ラ」の音訳字。
刺麻・亜刺比亜など。

師

シ／いくさ・みやこ・おさ

▽師匠・師範・医師・教師など。

帥

スイ・ソツ／ひきいる・そち

▽帥先・元帥・総帥など。

祇

キ・ギ・シ／ただ・まさに

▽祇園・神祇・地祇など。

祇

シ／つつしむ・まさに・ただ

▽祇役・祇候・祇服など。

候

コウ／そうろう・うかがう・まつ

▽候補・候鳥・氣候・伺候・時候・居候など。